

## 第1学年 道徳学習指導案

日 時 平成21年10月9日(金) 5校時

学 級 1年A組(男子5名 女子8名 計13名)

授業者 教諭 大和 公恵

1 主題名 時と場に応じた言動 2 - (1)

2 資料名「島 耕作 ある朝の出来事」

(中学生の道徳1年 自分を見つめる：暁教育図書)

3 主題設定の理由

(1) 価値について

指導要領解説編には「相手を思う気持ちがあったとしても、時と場にふさわしくない言動は人々の間では受け入れられないであろう」とある。島耕作のとった行動がそうであるように、相手を思いやる気持ち、人としてこうあるべきという公德心から生まれた行動であっても、周りの人や状況を一切無視した物言いや態度は、人を不快にさせることがある。

頭ではわかっているつもりでも、感情や自己中心的な考えが優先してしまい、周囲のことが目に入らなくなってしまうことがあることを考えさせる。

(2) 生徒について

1年生は、明るく元気な女子と、控えめでどちらかと言えば物静かな男子からなるクラスである。

元気で発言も多い生徒の中には、思ったり感じたりしたことを、今いる場所や状況を考えずに感情のまま大声で発してしまう生徒もいる。

公共の場では、周囲に気を配ることが大切と頭ではわかっているけれども、つい自己中心的になってしまうこともある。

(3) 資料について

朝の通勤ラッシュの車内。苦しそうに立っている老婦人。困っている老人を前にして、席を譲るどころか平然と新聞を読んでいるサラリーマン。主人公の島は、そのサラリーマンに席を譲るようお願いする。しかし、サラリーマンの思いもよらない言葉から口論となる。自分さえよければいいという、自己中心的な考えを許せない島の、公德心から出た言動である。老婦人を思うあまりの言動であるが、居合わせた周りの人々、そして老婦人本人の気持ちになって考えてみると、行き過ぎた行動にも思える。島の持つ公德心とそれを実行に移す勇氣は受け入れながらも、公共の場でとるべき言動であったかどうかについて考えさせたい。

(4) 他の教育活動との関連

家庭科の被服分野でTPOという言葉进行学习している。時と場を考えた服装の大切さを教えているが、服装に限らず態度や言葉づかいなど当てはまることはたくさんあることも学習している。

9月に行った宿泊研修では、公共の交通機関や宿泊施設を利用した。実行委員提案のきまりにも他の乗客や宿泊客の迷惑にならないようにすることが盛り込まれ、守るべき当然のこととして全員で確認した。しかし、楽しい気持ちや疲れなどその時の自分の気持ちなどが優先して自己中心的な行動がみられる場面もあった。

4 本時の展開

(1) 本時のねらい

時と場にふさわしくない言動の迷惑を知り、TPOをわきまえた言動をとろうとする実践意欲を培う。

(2) 指導構想

導入では怒っている主人公の顔を見せて、どんな表情か考えさせ、これから読む資料がどんな内容なのか興味を持たせる。

この資料は、電車内での出来事を二つ取り上げ比較するような構成になっている。本時はまず前半部分を読み、苦しんでいる老婦人を助けたいと思う島耕作の気持ちに共感させる。しかし、善意から出た行動であるにも関わらず、混雑した車内で口論になってしまったことに注目させ、言葉づかいに対する気遣いに欠ける点や周囲のことはお構いなく自分のこうありたいという信念だけで物事を進めようとする強引さについて考えさせたい。もちろん、頼まれたサラリーマンが一言目に発する言

葉も自己中心的で相手の気持ちを考えることが無く、周りの状況を全く無視している言動であることにも気付かせたい。

その後、後半部分を読み、一つめの話と対比する。同じような場面なのに、異なる展開になっていることから、その場や相手の状況を考えた言動をとるかどうかによって、その後の展開は異なるものになることを確認する。

終末では、自己評価カードを利用して本時の授業を振り返り、日常生活の中で気を付けたいと思うことを記入させる。

意図的交流の場面の設定としては、まず座席をコの字型に設定して、向かい合っ  
て座るようにする。登場人物のとした言動を支持するかしないかを心情円板を用い  
て表し、互いの気持ちの表れを見て友だちに質問したり、考えを言ったりするよう  
に促す。

(3) 展開

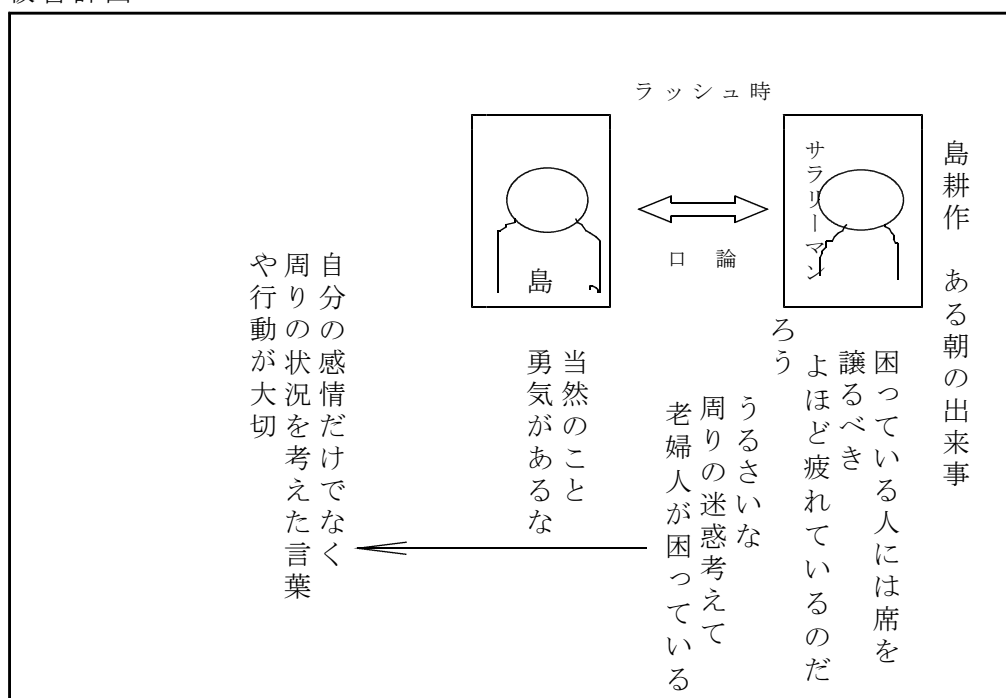
	学習活動	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導 入	1 怒っている島耕作の絵を見せて、どんな表情なのか考えさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・怒っている顔</li> <li>・困っている顔</li> </ul>	正解は言わず、これから読む資料に関心を持たせる。
展 開	2 資料の前半を読む		座席はコの字型にして、お互いの顔や心情円板の様子がわかるように配慮する。
	3 内容の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の通勤ラッシュの車内</li> <li>・苦しそうに立っている老婦人</li> <li>・平然と新聞を読んでいるサラリーマン</li> <li>・腹を立てる島</li> </ul>	
	4 サラリーマンのとした行動を問う	<ul style="list-style-type: none"> <li>○このサラリーマンをどう思いますか。</li> <li>・目の前に苦しそうな人がいたら席をゆずるべきではないか。</li> <li>・よほど疲れていたのだろう、仕方がない。</li> <li>・気持ちはわからないでもないが、断るときの言い方がよくない。</li> </ul>	
	5 島の言動について問う	<ul style="list-style-type: none"> <li>○島のとした言動をどう思いますか。</li> <li>・当然である。</li> <li>・えらいと思う。</li> <li>・他人に席を譲るように頼むなんて勇気があると思う。</li> </ul>	
	6 公共の場で口論が起きたらどうか、考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○通勤ラッシュの電車で口論が起きたらどう思いますか。</li> <li>・朝から嫌だな。</li> <li>・うるさいな。</li> <li>・周りの迷惑を考えろ。</li> <li>・おばあさんが困っているじゃないか。</li> <li>・席を譲ればいいのに。</li> <li>・(島に) そんなにムキにならなくてもいいじゃないか。</li> </ul>	島の言っていることはわかるが、電車の中という公共の場面である点に注目させ、その時の言動としてふさわしいか考えさせる。

	<p>7 もう一度、島の言動について問う (心情円板)</p> <p>8 資料の後半を読む</p> <p>9 一つめの話との違いを問う</p>	<p>◎場所や周囲の状況なども考え合わせて、島のとった言動をどう思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しいことだが、周囲の人の迷惑も考えるべき。</li> <li>・老婦人がかわいそう。(自分のせいで口論になって)</li> <li>・周りの人ももっと優しい気持ちを持たばいいのに。</li> </ul> <p>○一つめの話と、この話の違いは何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一つめは自分のことしか考えていない。</li> <li>・二つめはその場のことや相手のことを考えて行動している。</li> </ul>	<p>道徳シートを配布 心情円板の割合の変化を記入させる。その後、考えを発表し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>意図的交流の場の設定</p> </div> <p>なおも、島の言動を「支持する」生徒は公德の心の表れであろうから、それを否定はしない。しかし、口論に発展してしまったことは考えさせたい。</p>
<p>終末</p>	<p>10 自己評価カードの記入</p>	<p>本時の授業の振り返りと、時、場所、場面を考えた行動について、考えたことを記述させる。</p>	

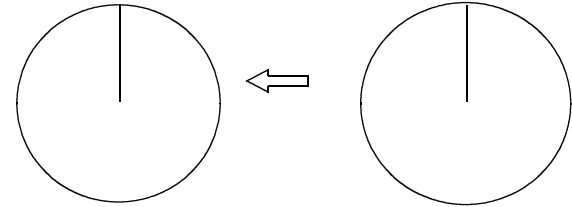
(4) 評価

時と場にふさわしくない言動の迷惑を知り、TPOをわきまえた言動をとろうとする実践意欲を培うことができたか。

(5) 板書計画



島のとった言動を「支持できる？」  
「支持できない？」



○はじめと今とで、島の言動に対するあなたの考えが変わった理由を書きなさい。

○2つの資料を通して考えたことをふまえて、あなたが社会の一員として生活していく上で、これからどんなことに気をつけていこうと思いますか。

今日の学習の自己評価

- |                                |   |   |   |   |
|--------------------------------|---|---|---|---|
| ①自分の意見を持ち、話すことができたか。           | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ②友達の意見を聞き、考えを深めることができたか。       | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ③自分が今日感じたこと、学んだことをまとめることができたか。 | 4 | 3 | 2 | 1 |

氏名